保育園だより

2026.11.01 No.620

河田保育園

１０月以降、秋もすっかり深まり朝夕の冷え込みが厳しく感じるようになりました。そんな中、子どもたちは元気いっぱい、園内を走り回っています。しかし、インフルエンザが猛威を振るっています。皆様、十分にお気を付けてお過ごし下さい。

運動会は快晴！むしろ暑い日差しの中、おかげ様で無事開催することができました。ぞう組のオープニングプログラムの八丈太鼓は、いまや開会式には欠かせない３０年以上も続く河田では歴史ある演目となりました。

子どもたちは年齢や身体能力の差はあれど、みんなのびのびと頑張っていました。乳児グループは可愛らしく和やかに、幼児グループは活動的で元気よく、紅白リレーや徒競走などに応援の力も入りました。ぞう・くま合同の組体操は、体育的発達成長がわかり、大きな拍手を頂きました。また、会場設営に飾り付け、機材搬出入のお手伝いして頂き、おかげ様でスムーズに会が運びましたこと。沢山の声援やご協力に感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

さて、下半期もスタート。クラス毎の遠足やハロウィンパーティーを皮切りに盛沢山の行事が開催されます。どうぞお楽しみ下さい。

「遊び」の三要素

子どもにとっての遊びを定義してみると、第一に「楽しい」「面白い」というような肯定的感情を伴うこと、第二に自発的に行う活動であること、そして第三にたくさんの可能性が生まれる活動であると言えます。

一つ目の肯定的感情という点は、大人にとっても遊びは楽しくおもしろいものですから、理解しやすいです。ただし、遊んでいる時に感じる気持ちは、真顔で真剣に取り組んだり、難しいことに挑戦して緊張感を感じたりと、必ずしも肯定的な気持ちだけではないかもしれません。このように遊びを通して、肯定的感情だけでなく多様な感情を経験することは、子どもの成長・発達にとって、とても重要なことです。

二つ目の自発的というのは、やらされるものではないという事です。子どもが自ら遊びたいと思う事、やってみたい、思わずやってしまうというような活動が遊びなのです。

三つ目のたくさんの可能性が生まれるという事は、遊びを通して体を動かしたり、頭を使ったりする事によって、その場が楽しいだけでなく、子どもの心と体の力を育んでいくという意味です。

何かの能力を伸ばすために遊ばせるのではなく、子どもが夢中で遊んでいるうちに、様々な力が身に付いてくるのが遊びなのだと思います。遊び自体に目的がなくても、何の価値も生み出さなくても、それが遊びであると言われることもあります。

日本の幼児教育の基本が記されている「幼稚園教育要領」には、「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である」と書かれています。子どもにとって、遊びは、「自発的」かつ「学び」であるという事が重要なポイントです。

11月行事予定表

１１月１１日（水）	秋の健康診断	保育園	全園児
１２日（木）	とら組遠足	羽根木公園	とら組
１３日（金）	くま組ハッピーデー	おおぞら公園	くま組
１８日（水）	避難訓練	保育園	全園児
２５日（水）	誕生会	々	々
下旬	身体測定	保育園	全園児



たんじょうび おめでとうございます！

１１月うまれのおともだち

ぞう組

くま組

とら組

やぎ組

せんせい　のうの　えりこ　さん　？　１１月１６日　々

第三者評価アンケート調査

10月26日（月）～11月9日（月）まで、外部の第三者評価機関による利用者アンケート調査を今年も実施しています。今年度も忌憚のない、ご意見よろしくお願いします。アンケート回答後、ポストに投函して下さい。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

11月9日は１１９番の日



11月9日（月）～11月15日（日）は「秋の火災予防運動」週間です。
標語は『火の確認　いい日を支える　いい週間』です。 この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的に実施されているものです。

１１９番の日は、消防に対する正しい理解と認識を深め、地域ぐるみの防災体制の確立に資することを目的として定められました。